



市保連 だより

2024
(7月)

[第537号]

令和6年7月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 今村 弘之
調査広報担当理事 藤川 顕彰
委員 竹下 賢一 富永 一吉
松間 詠蔵 村上 尚

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2階
TEL(096)322-0096

転換 理事長 上野 誠之

引き続き連盟理事長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

国においてはこどもまんなか社会を実現するとして、こども大綱が示され、実現に向けた取り組みが始まっています。子どもの意見を尊重することや子どもの人権を尊重すること、誰一人取り残さないと掲げていますが、これまで子どもの権利条約を批准しつつも、なかなか進んでこなかったことに対して、国としてようやく福祉先進諸国並みの思考に変わってきたと受け止めています。

そういった中、まずもって保育の現場においては子どもの人権や権利の保障については今一度見直したうえで取り組んでいかなければなりません。これまでの教育・保育といった場面では、大人が子どもに教える、子どもを従わせるといった考えもまだまだ強く根付いているのではないのでしょうか。これはこれまでの社会において決して間違っていたものでもないかもしれませんが、子どもの権利や意見の尊重といったことに取り組むにあたっては、これからはしっかりと子どもを尊重していくことにつなげなければなりません。少子化だからこそではなく、社会として未来を担う子ども達のために取り組んでいく必要があると思います。

また、連盟創設の昭和24年は、終戦後の困窮する子どもの保護、救済。そして次代を担う子どもの健全な育成を図るために児童福祉法が制定された直後であり、すべての児童の幸福を図るための児童憲章が定められた時代でありました。時代は大きく変化し、集団の尊重よりも個が優先される時代とも言われます。しかし組織としての役割ももちろん意識していく必要もあります。団体だからできること、組織だからできること、人任せではなく、連盟組織一丸となって考え、取り組むべきことはたくさんあると思います。現在私たちは乳幼児の健全育成とともに公益的な児童福祉活動を行い、社会に寄与することを目的とした一般社団法人として歩んでいます。このことも大切な役割であり、組織人として今一度見つめ直していかねばなりません。

尚、保育の現場においては少子化による定員の縮小や保育者不足など課題も山積です。充実した保育に取り組もうにもなかなか進まないという現状があります。待機児童解消のための施策として保育施設の設置も多様になり、施設数も驚くほどに増えたことで保育者不足が高まり、待機児童が解消されると定員を割り、拍車をかけての少子化の進行で保育の現場は激動の時代ともいえます。安心して生み育てるための施設数の増加による影響も大きく、今後の運営に支障を来す状況となってきたことを踏まえ、ここ数年の課題でもありますが、組織としてもこのことを少しでも進めていこうと考えております。そのためには日々の研鑽や認可施設における保育の質の向上はもちろんのこと、地域における役割も含め、こどもまんなか社会に向けた転換が求められる時であると考えます。



守るべきもの・変えるべきもの 副理事長 業務執行理事 硯川 和歌子

皆さまのご承認を得、7期目の理事を務めさせていただくこととなりました。

研修副委員長→経営総務委員長→園長委員長→予算対策委員長(連続3期)を経て、当連盟が創立75周年を迎える節目に副理事長という大役を仰せつかり、その重すぎるお役目に年甲斐もなく緊張しております。



担当委員会は、総務委員会・人材委員会・予算対策委員会ですが、総務と人材を統括する新役職に山崎統括理事が加わり頼もしい限りです。

今期は前期からの繰り越し課題もあり、上野理事長の傘下、丁寧な、且つあまり時間を要せずに検討していかなければならないと感じております。

「守るべきもの(伝統)」と「変えるべきもの(改革)」を念頭に置きつつ、前期同様、忌憚ない意見をぶつけあいながらも明るく楽しい理事会運営の一助になるよう心がけてまいります。今まで以上に会員各位にお知恵やお力をお借りする機会が増えることと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長就任のご挨拶 副理事長 業務執行理事 岩男 慎治

令和6年度5月通常総会において理事に選任され、同日の臨時理事会において理事長より連盟副理事長の職を拝命し、再任することとなりました。園長先生をはじめ、会員の皆様宜しく願い申し上げます。



担当は、催事、調査広報委員会、立田山野外保育センター運営委員会、研修委員会、保育士会、給食部会となります。各委員会の活動を補助し、各園、各会員の保育活動に資するものを推進していきたいと思っております。

本連盟は、教育・保育の研究、研修、そして会員の福利厚生活動を主として行う組織として、75年前に発足致しました。時が流れ、会員の園や会員数が増え、その活動内容は大きく変わりました。どの活動も大切ですが、原点である教育・保育の研究、研修を中心と考え、さらなる会員の資質向上を目指してまいります。

「銀(しろがね)も 金(くがね)も玉も 何せむに 優(まさ)れる宝 子にしかめやも(『万葉集』)」親が子を思う心は、万葉の時も、今も変わらないようです。その大事な宝(子どもたち)のために、微力ながら力を尽くしていきたいと存じます。

組織を支える一片の石として 専務理事 吉原 千代作

この度、令和6～7年度の専務理事の大任を拝しました、力合さくら子ども園の吉原千代作と申します。母方の祖母が千代子、祖父が作次郎でその名に因んで千代作と父母が命名したそうです。園業務に携わるようになって25年目、園長になって9年目となりますが、日常の業務を坦々となすのに精一杯でまだまだ到らない点が一杯の弱輩者です。気づけば白髪も増え、若手と呼ばれていた頃が懐かしい年齢になってしまいました。歴代の連盟役員諸先輩方のご活躍ぶりを遠くから見ていた身として、諸業務に明確にどう責任を果たせば良いのか暗中模索というのが正直な気持ちです。理事としての経験も少ない自分ができる事をよくよく悩み考えて日々精進していくしかないと自らを鼓舞しています。



翻って世間を觀れば政治的にも経済的にも幾多の問題が散見されます。そして身近な保育現場においても深刻な人材不足が課題となっています。まずは自らが人材として成長する事は勿論、同時に人財溢れる連盟組織になればと願います。名城の石垣は大小の異なる形の石が無数に絶妙に組み合わせられてこそ堅固になるそうです。私自身が円滑な組織運営の為の一片の石として皆様のお役に立てるよう労を惜しまず努力して参ります。2年間、よろしく願いいたします！



皆さんが楽しめる催事を 催事担当三役待遇理事 兼 園長委員会統括理事 鬼塚 和典

令和6・7年度催事担当理事及び園長委員会統括理事としてご承認いただきました。催事という、連盟においてお客様をお迎えして行う大事な行事の運営統括という事で重責に身が引き締まる思いです。園長委員会については、統括としてしっかりとサポートをしていきたいと思ひます。



今年度は熊本市保育園連盟創立75周年及び熊本県保育協会との分離独立25周年の節目の年となります。8月24日(土)には記念式典、講演会、祝賀会を予定しています。式典の成功に向け、催事担当として各部署と連携を取りながらしっかりと計画、運営をしていきたいと考えています。

また、保育研究大会や連盟体育祭、新年会等においては、連盟会員の団結と親睦、政治、行政、各友好団体との親善を図りながら、皆様が参加してよかったと思えるような運営に努めていきます。

立田山野外保育センターにおけるわんぱくまつりにおいても、様々なプログラムを通して市民の皆様連盟の情報を発信していきます。そのためには連盟加盟園と会員の皆様のご協力が不可欠です。皆様と共に協力しあいながらこれからの2年間努めていきたいと思ひます。どうぞよろしく願いいたします。

広い視野をもって 書記 兼 調査広報担当理事 藤川 顕彰

通常総会にて、書記並びに調査広報担当理事として選任されました。不十分な点多々あると思いますが、精一杯勤めさせていただきたいと思います。皆さま方のご教示よろしくお願いいたします。



「蟪蛄(けいこ)春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや」という言葉があります。蟪蛄とは蟬のことです。「夏に成虫となる蟬は、春や秋があることを知りません。春や秋を知らないこの虫が、どうして朱陽の節(夏)を知ることができるのでしょうか」という意味です。即ち、蟬は春・秋・冬がどういう季節であるかを知りません。では、夏を詳しく知っているかといえばそうではないと。麗らかな春、山粧う秋、寒い冬の四季全てを知るものこそ、夏を詳らかに知ることができるのだということです。

今回承りました書記は、主な仕事に理事会での議事録の作成があります。つまり、会議中の内容や決定事項を振り返るお手伝いです。理事の方々が、議事録を通し全体を把握することによって、ご自身のやるべきことが明確になるための助けとなればと思っております。調査広報のお仕事も同様に、日頃、自園のみで日常を過ごす会員の皆さまが、俯瞰して自園をみるためのお力添えになれるようにすすめてまいりたいと思っております。2年間お世話になります。



守拙持頑 総務委員会・人材委員会 統括理事 山崎 敬太郎

今期、総務委員会・人材委員会統括理事を拝命いたしました。皆さんにとっても聞きなれない役職名だと思いますが、安心してください。私も初めて聞きました。総務委員長である外所理事、人材委員長である吉岡理事の2人の委員長のサポート役として委員会活動に携わらせていただきます。



今回の統括理事という役職は、円滑な引継ぎを行い途切れない各委員会活動を行っていくための役割であると考えています。実際に総務委員会では、前期から今期にかけて、引き続き整理している事案があることや、人材委員会につきましては、実習前ガイダンスを5月31日に養成校で行い、同時にインターンシップや合同事業所説明会の準備など、役職交代から早々にそれぞれの活動をスタートさせています。総務委員会は連盟組織や会員園、及び会員に対してのそれぞれの事業。人材委員会は人材確保、及び情報交換に関する事業。どちらも非常に重要な委員会でありますので、微力ながら役割を全うしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。